



野菜研究所ニュース

No.23 2019.3

あおもりの未来
技術でサポート

青森県産業技術センター 野菜研究所

<掲載記事>

- ニンニク種子生産技術に興味
- 公開デー
- ナガイモ長大系統検討会
- 研究成果発表会



11月12日: 気温の変化に戸惑ったのかツツジが咲いていました

ニンニク種子生産に興味-インドネシア、フィリピン

10月11日インドネシア農業研究開発庁から2名視察にみえました。遺伝資源利用の共同事業をおこなっている株式会社サカタのタネの方々と同行です。インドネシアではニンニクの供給を中国からの輸入に頼っており、自国内でのニンニクの増殖に興味があるそうです。ニンニクの生態への質問や増殖施設の見学をしていきました。

今年はフィリピンからも同じような視察があり、東南アジアでは、ニンニクの自国内生産の気運が高まっているのでしょうか。



ニンニクの網室前で熱心に質問するお二人

3つの研究所が合同で公開デー

並んで野菜を買い求める皆さん



青森産技 あomorの未来、技術でサポート♪

野菜研究所 農産物加工研究所 農総研藤坂稲作部 公開デー

平成30年

とき **9月14日(金)** 9:00~15:00

ところ **野菜研究所・農産物加工研究所・藤坂稲作部**
(園場案内します)

あomorの野菜・米・食品加工を支える研究成果を紹介

野菜研究所

にんにく・ながいも栽培の研究最前線を紹介

農産物加工研究所

食べておいしい見えて楽しい 桃加工あれこれ

農総研 藤坂稲作部

水稻新品種の安定生産のポイントを紹介

必見 見てみよう! 最新技術!

最新農機の実演会 10:00~14:00

■ドローン
■自動操縦トラクター
■ニンニク施肥同時駆立マルチャー etc.



研究成果紹介

ミニ講座 10:00~12:30

- 失敗しない土づくり
- 野菜研究所におけるにんにくの優良種苗(原種)生産について
- ドローンによるナガイモ防除試験
- 桃の真空調理とその活用方法
- 新設備「あomor」でみゆめたかの安定栽培のポイント etc.

成果展示

■栽培、品種、病害虫防除に関する研究成果パネル展示 etc.

毎年恒例!

ニンニク共進会 (全農あomorと共催)

野菜販売

■じゃがいも・キャベツ・たまねぎ・ねぎ etc.

※数に限りがあります

きいてみよう!

野菜・水稻・農産加工

何でも相談

所内見学

野菜研園場

農加研

稲加工品の試食あり!

藤坂稲作部園場

主催 地方独立行政法人青森県産業技術センター(青森県)
野菜研究所(青森県)・農産物加工研究所(津軽部)
農林総合研究所(盛岡部)

場所 (野菜研・農加研) 上北郡六戸町大字大落瀬字柳沢91
電話 0176-53-7171 fax 53-1315
(藤坂稲作部) 十和田市大字相模字稲坂183-1
電話 0176-23-2165

9月14日、当研究所と農産物加工研究所において、藤坂稲作部と併せ公開デーを開催しました。近隣の市民の皆様ら600名余りの方がおみえになりました。

天候にも恵まれ、ミニ講座やパネル展示で研究成果を紹介しました。共催のにんにく共進会では農家の皆様が丹精込めてつくった立派なニンニクが並んでいました。また、最先端省力化農業機械の実演も昨年に引き続き行われ、関心が高いようでした。



にんにく共進会



無人走行トラクターでほ場を耕起

ながいも長大系統成績検討会

12月26日、当研究所において、県関係機関、J A全農あおもり、各農協から参加を得て、ながいも新系統の現地試験の結果の検討会が開催されました。

当研究所からは今年の生育状況や試験結果について解説し、県内数力所で試験し、収穫したサンプルをみていただきました。育成した系統についてはさまざまな評価をいただきました。品種登録の如何は検討中ですが、今後の系統選抜に大いに参考となりました。現場の皆様の声を聴きながら品種育成を続けて参ります。



野菜研究所研究成果発表会

2月20日、野菜研究所の研究成果発表会が三沢市国際交流教育センターで開催されました。研究員8名がスライドを用いて、今年の野菜研の研究成果や試験の実施状況を紹介しました。90名ほどの出席いただいた関係機関・団体の方々からの発表後の質問も活発で、終了予定の時間が大幅に伸びてしまいました。

新しい技術への関心が高いこと、私たち野菜研の研究開発への要望が高いことがうかがえました。

